

精神科医として患者さんのこころの声に接しながら、音楽大学で特任准教授として
音楽療法の教鞭をとるコンポージャー、馬場存。

馬場存が奏でるオリジナルピアノ・サウンドは、抜群のメロディセンスと
繊細なタッチの妙なるコンビネーションによる

究極のヒーリング・ミュージックとして疲れた現代人のこころをチルアウトします！

馬場 存 (ばば あきら) プロフィール

医学博士、日本精神神経学会認定精神科専門医、精神保健指定医

日本音楽療法学会認定音楽療法士

東京大学工学部を経て慶應義塾大学医学部卒業。

大学時代よりジャズピアノと作曲を開始、

医学部在学中より放送業務用BGMの作曲・演奏にたずさわる。

医学部卒業後、精神科医として研修の後、

慶應義塾大学大学院で音楽の幻覚を研究。その間も作曲・演奏活動を続ける。

大学院修了後、国立音楽大学教授村井靖児氏(当時)のもとで音楽療法を学ぶ。

2003年4月、Sony Music Japan Internationalより、

オリジナルピアノ曲を収めたアルバム「re*me〜リ・ミー〜」をリリース。

2003年、2004年昭和産業「お釜にポン！」CMのピアノ曲作曲・演奏を担当。

2005年、鈴木重子プロデュース「風のフォーラム」第1回、第2回ゲストとして出演。

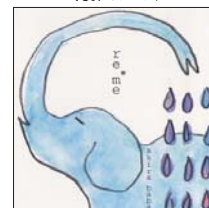
「風のゆくえ」作曲・伴奏担当（鈴木重子歌唱で初演）。

2007年、京セラ提供ウェブ・ムビー「九月の花火」挿入曲「すこし風の日」作曲・演奏。

国立音楽大学、聖徳大学、東京音楽大学講師を経て、

現在、東邦音楽大学特任准教授。精神科病院とクリニックにて精神医療と音楽療法を行う。

1stアルバム



『re*me〜リ・ミー〜』
Sony Records Int'l SICL-53

